パートナーユーザー応募および課題申請用 下書き様式

■■■■■　ページ１：基本情報　■■■■■

１．実験課題名（入力必須）

　１-1．日本語（最大150文字）

|  |
| --- |
|  |

　１-2．英語（最大70ワード）

|  |
| --- |
|  |

２．研究分野分類およびキーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究分野表（別紙１）を参照（入力必須） | | キーワード（最大50文字） |
| 大分類： | 小分類： |  |

３．研究手法分類およびキーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究手法表（別紙２）を参照（入力必須） | | キーワード（最大50文字） |
| 大分類： | 小分類： |  |

４．利用ビームライン（入力必須）

|  |
| --- |
|  |

５．所要シフト数[１シフト＝８時間] （入力必須）

今期のPU課題を実行するために必要なシフトを入力してください。

|  |
| --- |
| ・ ?? シフト × ?? 回（入力必須）  ・ ?? シフト × ?? 回  ・ ?? シフト × ?? 回  （例：6シフト×１回、3シフト×2回という組み合わせが可能です） |

６．運転モード（詳細は下記リンクをご覧ください：<https://user.spring8.or.jp/?p=15836>）

|  |
| --- |
| 希望なし（いずれのモードでも可）：＿＿  等間隔モード（A or B or C モード：いずれかのモード指定なし）：＿＿  モード指定必須：＿＿ |
| （モード指定必須選択時）モード希望順位（A, B, C, D, E, F, G, H）※  第一希望：＿＿　第二希望：＿＿　第三希望：＿＿　第四希望：＿＿　第五希望：＿＿　その他：＿＿ |

※ D, EモードはA期のみ、F, GモードはB期のみ運転します。

７．来所できない時期（最大100文字）

　今期のPU課題実行にあたって来所できない時期をご記入ください。

|  |
| --- |
|  |

※ご希望に添えない場合があります。また、来所不可日が多数の場合、ビームタイムの割り当てが困難となる可能性がありますのでご留意ください。

■■■■■　ページ２：共同実験者　■■■■■

８．共同研究者：ユーザーカード番号、氏名、所属　（入力必須）

PUグループメンバー（BLスタッフと協力しながら、PU課題の実施、ビームライン実験装置の開発・高度化および利用者支援を実施していただける方で、申請ビームラインでの測定技術を熟知し、放射光科学技術分野の開拓が期待できる研究者）を登録してください。

|  |
| --- |
|  |

注）事前にユーザー登録が必要です。Web申請時には、ユーザーカード番号の入力により、氏名/所属が自動入力されます。ユーザーカード番号が不明の場合、氏名/所属による検索も可能ですが、共同実験者が氏名/所属によるユーザー情報検索を拒否している場合、ユーザーカード番号を検索できません。必要な場合は、共同実験者に、ユーザー登録 > 登録内容確認/変更ページにて設定を変更するよう事前にご連絡ください。なお、課題採択後も共同実験者の変更は可能です。

■■■■■　ページ３：安全に関する記述、対策　■■■■■

９．安全に関する記述、対策

9-1　安全に関する手続きが必要なもの※1〜5

|  |
| --- |
| （□）該当なし |
| （　）高圧ガス容器持込み実験  （　）放射性同位元素の持込み及び使用  （　）放射性発生装置の新設及び改造、使用目的の変更、性能の変更  （　）国際規制物資（核原料、核燃料物資等）の使用  （　）法規制されている装置等の設置  （　）法規制されている化学物質の使用  （　）特定外来生物の持込み  （　）牛の特定部位の持込み  （　）輸入禁止品（植物防疫法）の持込み  （　）遺伝子組換え実験  （　）ヒト由来材料を用いる実験  （　）高出力レーザ機器の持込み  （　）動物（生きた哺乳類、鳥類、爬虫類）の持込み  （　）特定生物試料（他の生物に感染性を有する生物・物質及びそれに由来するもの）の持込み |

※1：該当する物質および実験は、使用または実施前に手続きが必要なので、来所前に[必要書類](http://user.spring8.or.jp/?p=1565&lang=ja)を提出すること。

※2：｢法規制されている装置等」とは、高圧ガス製造施設、局所排気設備・ガス供給排気設備、クレーン等。

※3：｢法規制されている化学物質｣とは、  
特定物質・第一種指定物質（化学兵器禁止法）、特定毒物（毒劇法）、製造等禁止物質・石綿等（安衛法）、薬事法の指定薬物、麻薬及びその原料、覚せい剤及びその原料、大麻（樹脂）、あへん及びその原料等、向精神薬、指定数量1/5以上の危険物（消防法）。

※4：｢高出力レーザ機器｣とは、JIS C-6820に規定するクラス4、3B及び3Rのレーザ。

※5：｢特定生物試料｣とは、病原微生物（感染性を持つ核酸・プラスミド・プリオン等を含む）、寄生虫並びにこれらの産生する毒性物質、発ガン性物質及びアレルゲン等、生物学的相互作用を通して、人体・家畜・農水産物に危害を及ぼす要因となるもの。

9-2　SPring-8において必要とする施設の装置、器具（最大200文字）

|  |
| --- |
| ビームラインに常設しているレーザ機器を使用する場合(例：BL40XUのYAGレーザ)は、“常設しているレーザを使用”とご記入ください。 |

9-3　測定試料及びその他物質（持ち込み試料だけでなくSPring-8/SACLAにおいて準備されたものも含む）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 物質名※6 | 形態  (形状)※7 | 量と単位※8 | 危険性　※9 | 使用目的※10 | 拡散防止及び処理方法 | 安全対策 | リスクレベル※11 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

*※6：組成も記入すること。略称不可。*

*※7：形態とは持ち込むときの状態、形状とは中の物質の状態をいう*

*（例：キャピラリー(粉末)、ボンベ(ガス)、プレート(結晶)など）。*

*※8：SI単位で入力。*

*※9：毒物、劇物、特定化学物質、有機溶剤、危険物(可燃性・爆発性)など。使用する化学物質の分類や物性が不明な場合は、下記リンク先の「事前手続き」から適切な外部サイトを参照していただけます。*

*（*[*http://www.spring8.or.jp/ja/users/safety/form\_procedure/chemistry-a-2*](http://www.spring8.or.jp/ja/users/safety/form_procedure/chemistry#a-2)*）*

*※10：測定、洗浄、冷媒、麻酔など。*

*※11：化学物質リスクアセスメント結果を入力。詳細は、下記リンク先の「化学物質リスクアセスメントについて」をご参照ください。アセスメント対象外物質の場合は、プルダウンメニューの「対象外」を入力してください。（*[*http://user.spring8.or.jp/s/risk-assessment-j*](http://user.spring8.or.jp/s/risk-assessment-j)*）*

9-4　持ち込む装置、器具

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 装置名 | 仕様※12 | 安全対策 |
|  |  |  |

※12：電圧、電流、圧力、温度なども記入すること。

■■■■■　ページ４：提案理由など　■■■■■

１０．PU課題実施計画について（最大5,000文字）（入力必須）

　PUに指定された場合に行っていただくPU課題について、今期（2021A期）における申請内容を記入してください

1. 高度化計画とPUの役割

2. 高度化に協力および関連した利用実験

3. 上記1,2の期待される波及効果（目標）

を具体的に述べてください。

　ビームライン実験設備の開発・高度化の具体的内容は、各BL担当者へお問い合わせいただき、十分な打合せを行ってください。

|  |
| --- |
|  |

１１．（新規申請の場合）本申請に関わる準備状況、これまでに採択された課題との関係、他に申請課題が  
ある場合はその課題との関係、同種実験の経験（最大600文字）  
PU課題で期待される成果を得るために、これまでに得た研究成果並びに装置、試料の準備状況等を具体的に記述してください。これまでに採択された課題との関係があるときは、その課題との関係を記述してください。

　　（継続申請の場合）本PU課題における2020A期までの進捗状況を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ５：実験方法　■■■■■

１２．実験の方法（レイアウト、測定法、検出器、試料の濃度などを明確にする）（最大3,000文字）

　　（入力必須：ただし継続申請は除く）

|  |
| --- |
|  |

１３．当該ビームラインでの装置利用経験およびPU要件としての測定技術の習熟度（最大300文字）

　　（入力必須：ただし継続申請は除く）

|  |
| --- |
|  |

１４．使用するエネルギー（波長）又は特性線（例：Pb-L）（最大100文字）

　　（ＸＡＦＳ測定の場合のみ：ただし継続申請は除く）

|  |
| --- |
|  |

１５．今期の所要シフト数算出の根拠（最大2,000文字）（入力必須）

全体計画における今期の実施予定内容等、申請シフト数を必要とする根拠をできる限り具体的に記述してください。

|  |
| --- |
|  |

１６．一般ユーザーへの支援内容について（最大2,000文字）（入力必須）

高度化等により整備された設備・装置を利用するユーザーに対する装置操作指導、実験指導および実験データ解析の際の助言等の支援内容について具体的に記述してください。

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ６：論文　■■■■■

１８．本研究に関わる実験責任者の発表論文リスト（SPring-8で得られた成果に＊印）と、これまでの

　　　研究の進捗状況が分かるように、各論文について２行程度の説明を記述。（最大5,000文字）

　　（入力必須）

|  |
| --- |
| SPring-8に登録済みの論文は、「自分が関連する論文リスト」から転記できる機能ができましたのでご利用ください。 |

■■■■■　ページ７：画像ファイル添付　■■■■■

１９．研究の目的、または課題内容の記述の中で使われる図表を３点まで添付できます。

注）アップロード可能なファイル形式は、JPG/JPEG, GIF, PNGで、ファイルサイズ制限は各1MBです。

Fig. 1:

Fig. 2:

Fig. 3:

（別紙１）

（別紙２）